

令和元年度 教員免許状更新講習

趣旨 主として小学校教諭を対象とし、集団宿泊活動における自然体験活動の教育的意義や、野外活動時の安全管理の方法について学ぶとともに、学級経営に活かせる人間関係づくりの手法について理解を深める。

企画運営のポイント 受講前のアンケートの内容を見直し、参加者が「各講座に期待すること」を把握し、講師が講義内容に生かす一助とした。



サンゴの沢 人口滝に挑む

期日：令和元年7月13日（土）～7月15日（月）（海の日）

会場：国立日高青少年自然の家

対象：令和元年度および令和2年度末が修了期限の教諭

参加者人数：7名（小学校教諭）

12:30	13:00	13:20	14:50	15:00	17:00	18:00	20:00	21:30	22:00	
受付	開講式	①講義	準備	②実習	夕食・入浴	③講義	休憩	自由交流	就寝準備	就寝

7:15	7:30	9:00	12:00	13:00	19:30	21:30	22:00		
朝のつどい	朝食	準備	④講義・実習	昼食	⑤講義・実習	休憩	自由交流	就寝準備	就寝

7:15	7:30	9:00	10:30	11:00	12:30	12:45	
朝のつどい	朝食	準備	⑥講義・実習	準備	⑦履修認定試験	閉講式	解散

教育の課題に関する理解	1.5	} 18 時間
体験活動に関する理解	2	
体験活動に関する技能の習得	13	
履修認定試験	1.5	



体験活動の指導法



サンゴの沢 沢登り



野外炊事実習(薪割り)

【成果】・受講者から、「講義と体験が結びついていてわかりやすかった」、「児童の指導に活用できる知識を得た」との声をいただいた。

・受講者は、学校の宿泊学習のプログラムを計画する際、子どもたちにどのような力を身につけさせるのか、また野外で想定されるリスクやその対処法について、実習をとおして理解することができた。

【課題】・放送大学、Eラーニングなど、今日の教員の多様な学習形態を踏まえ、講座内容の見直しはもとより、日高のフィールドでの体験をとおして学ぶ意義について広く知らせることが求められる。具体的には、SNSなどの媒体での宣伝のほか、広報での訪問、今後利用する学校の引率教員への声掛け（半年以上前）を行っていくことが求められる。